



新城 哲 議員

学校施設管理・整備について

質 安富祖小学校の施設管理について、複数の課題があります。把握しているのか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

各学校からの修繕依頼について学校教育課の施設係で情報を集約し、把握しているところです。児童生徒の安全に関わる防災設備や衛生機器などの修繕を最優先とし、学校経営に支障をきたす事案や老朽化等を考慮し判断しています。

安富祖小学校運動場の夜間照明設備の再設置について

質 名嘉真、喜瀬武原、安富祖の3行政区から提出された要望書及び署名について、村当局は、どのように受け止めているのか伺う。



當山 直彦 議員

軽度要介護者サービスの地域移行問題について

質 必要な介護サービスが低下しないための支援策や体制整備は。

答 福祉健康課長（當山 香織）

必要なサービスは事業所に委託して質の確保に努める必要があると考えています。地域住民等がサービスの担い手となる場合、研修会の開催など支援体制の整備も必要だと考えます。

高齢者の入居・入所施設不足について

質 認知症グループホーム・小規模ケアハウス整備事業の進捗状況を伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

整備予定地に自然公園法等の規制がかかっており、その解除手続に時間を要します。今後、手続に係る支援など積極的に取り組んでいきます。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

校区の3区長連名の要望書と署名を提出する場に、村二役と共に私も関係課長の1人として参加しました。住民の健康増進や世代間交流の促進、さらには地域コミュニティの活性化にもつながる重要な公共施設であると受け止めています。安富祖校区の3区長連盟の要望書で、地域の皆様の要望はしっかりと受け止めました。照明設備の整備に向けた方針が決まりましたら、区長にも情報提供し、連携して進めていきたいと考えています。

提 夜間照明設備は地域活性化に資する重要な環境整備であると考えます。名嘉真、喜瀬武原、安富祖の3行政区からも要望書及び署名が提出されていることから、村当局は地域住民の声を真摯に受け止め、前向きに検討していただくことを期待します。



地域福祉の推進について

質 現在の地域福祉の課題をどのように認識しているのか伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

夫婦のみ世帯、単身・高齢者のみ世帯の増加、少子高齢化が急速に進行、買物の利便性、生活問題が深刻化しています。これらの課題に対応するため、支え手と受け手という関係を超え、地域住民一人一人が主体的に関わる包括的支援体制の構築が急務であると認識しています。

農業の振興について

質 肥料・燃油・農業資材価格高騰への支援及び農業経営安定策定について伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

肥料や農業ビニール等の資材価格が上昇しており、農業経営の影響は大きいものと認識しています。今後は、出荷団体と調整の上、農業資材等購入補助金の補助率引き上げを検討するとともに、国・県の動向も注視しながら、農業経営安定化に向けた支援に取り組んでいきます。

安全・安心の拡充について

質 恩納村が重点的に取り組んでいる安全・安心策とは何か伺う。

答 総務課長（喜久山 隆）

防災対策として避難所等への防災備蓄倉庫の設置、大規模災害を想定した全庁的な防災訓練を実施、災害時の職員対応はじめ関係機関との連携、地域の自主防災組織設立や活動促進に向けた講習会、防災士資格取得補助金を通して、地域の防災リーダー育成に取り組んでいます。

質 通学路や生活道路における交通安全対策について、現在の課題と今後の対策を伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

ガードレールやカーブミラーの老朽化、歩道の雑草及びレンタカーなどの車両の増加などに伴う安全の確保と認識しています。課題のある箇所については、関係課や関係機関への措置・対応をお願いしており、今後とも安全点検の実施と関係機関との連携が必要と考えています。

答 建設課長（當山 国博）

カーブミラーの設置、転落防止策の修繕、グレーチングや側溝の修繕などがあり、現状状況を考慮して予算の範囲内で順次対応している状況です。今後とも安全・安心の道路環境の維持に向け、取り組んでいきます。

低所得高齢者の入居・入所負担と支援策について

質 施設利用料金の軽減や、住居費・食費負担の支援など、村独自の支援策はあるのか。

答 福祉健康課長（當山 香織）

村独自の支援策はありません。介護保険制度において所得に応じて食費と居住費の経済的負担軽減を行っています。また、配食サービスや外出支援サービス、住宅改修費助成など在宅での生活継続を支援するサービスも実施しています。

障がい者就労支援と「共生社会の実現」について

質 本村における障がい者就労の課題認識を伺う。

答 福祉健康課長（當山 香織）

相談は本人の就労希望より家族からの相談が多い。就労が定着しないケースや本人の希望条件に合致する事業者が見つからないことも課題です。本人の意向に沿った支援と就労につながらない場合の継続したサポートが必要です。

教育支援センターの設置と不登校児童生徒支援について

質 地域の多様な主体が参加しやすい仕組みづくりに関して教育長の見解を伺う。

答 教育長（宜志富 清博）

地域の多様な主体が参加しやすい仕組みづくりは大切であると考えます。不登校対策は、成人後のひきこもり予防という長期的視点から、地域全

体で子供たちを支援する重要な取り組みであると考えます。子供の頃からの支援を通して、社会とのつながりを構築させることで、生涯にわたって地域で活躍できる人材育成につなげていきたいと考えます。



教育支援センター（旧恩納保育所）

「地域共生社会」の実現に向けた横断的連携について

質 村長リーダーシップのもと進められている横断的連携のさらなる強化とその成果の「見える化」について、村長の見解を伺う。

答 村長（長浜 善巳）

恩納村版包括的支援体制の推進に向けて、社会福祉協議会をはじめとした関係機関との多機関協働による連携体制を構築し、その進捗状況や支援成果を発信することで、透明性の高い村政運営に努めます。